

「政策のための芸術か 芸術のための政策か —文化政策のジレンマ—」

2010年1月9日[土] 13:30—18:00

東京芸術センター 天空劇場

[北千住駅徒歩7分]

一般公開/入場無料

Vol.1

基調講演&ディスカッション 13:30—15:50

「政策のための芸術か 芸術のための政策か —文化政策のジレンマ—」

アーツカウンシルが発達し、政策と芸術現場の連動が進む英国ですが、昨今は政府の文化政策から芸術団体の経営までデータを駆使したエビデンス・ベースのポリティクスが盛んです。その可能性と芸術に与える影響を議論します。(逐語通訳あり)

基調講演

ジョセフィーヌ・バーンズ(英国・BOPコンサルティング代表)

ディスカッション

ジョセフィーヌ・バーンズ(英国・BOPコンサルティング代表)

毛利嘉孝(東京藝術大学・文化研究)

曾田修司(跡見女子大学・文化政策)

司会 | 熊倉純子(東京藝術大学・芸術運営)

Vol.2

ラウンド・テーブル 16:00—18:00

「提言—新しい政府に新しい文化政策を 鈴木寛文部科学副大臣を迎えて」

新政権の文化政策を担う政治家をお迎えし、今後の展望を伺うとともに、新政権の文化政策に対し、文化政策の専門家たちが提言をおこないます。既にさまざまな団体がそれぞれの立場から提言をおこなっていますが、政府はそれらを選択しなければなりません。ラウンド・テーブルでは、事前の理事たちの提案をもとに、文化政策の何を選択するのか、どのように優先順位をつけるのか、そのもとになる考え方は何か、などを提言し議論することにより、学会としての責務を果たしたいと考えています。

議長 | 小林真理(東京大学)・桧森隆一(嘉悦大学)

パネリスト | 鈴木寛文部科学省副大臣、日本文化政策学会役員 数名

お問合せ先

e-mail: office@jacpr.jp

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1 静岡文化芸術大学文化政策学部

片山泰輔研究室内 日本文化政策学会事務局

Phone: 053-457-6186 053-457-6186 FAX: 053-457-6132(学部事務室)

主催 | 日本文化政策学会

早稲田大学演劇博物館・演劇映像学連携研究拠点「舞台芸術 創造とその環境 日本/世界」

共催 | 財団法人足立区生涯学習振興公社

協力 | プリティッシュ・カウンシル

研究発表&若手フォーラム

2010年1月9日[土]・10日[日] 東京藝術大学 千住キャンパス

参加費 | 会員 1000円 非会員 3000円
(若手フォーラムおよびポスターセッションは入場無料)

主催 | 日本文化政策学会

研究発表

- 分科会A — 「自治体文化政策の目的・主体・手段～分権時代の振興条例や政策のあり方」
- 分科会B — 「政策の中の芸術・文化」
- 分科会C — 「国際関係の中の文化政策～映画と博物館を例に」
- 分科会D — 「文化振興と格差」
- 分科会E — 「文化政策を歴史的に捉え返して現代の問題を考える」
- 分科会F — 「文化事業が(地域)社会や政策にもたらした影響」

若手フォーラム—政策夜塾

「若手研究者たちによる、今日的なテーマや活動報告など7つの車座企画」

※プログラムの詳細・お申し込みにつきましては、
公式ウェブサイト <http://www.jacpr.jp> をご覧ください。

(公開シンポジウムのみのご参加は、申込不要です。)